

事務局報

2023年8月31日発行

発行／銀行業務検定協会・事務局 発行責任者／勅使河原 豊
〒162-8464 東京都新宿区市谷本村町3番21号 TEL：(03)3267-4821(代) ホームページ <https://www.kenteishiken.gr.jp/>

〈第155回〉銀行業務検定試験成績発表

信託実務3級、金融経済3級が好成績

去る2023年6月4日(日)に実施した第155回銀行業務検定試験の成績結果がまとまりましたので、以下のとおり報告いたします。

法務2級

「法務2級」の成績結果は、「表-1」のとおりです。

応募者数2,138名中受験者は1,745名で、合格者は388名でした。合格率は22.23%、平均点は

38.14点で、ともに前回は下回りました。

最高点は91点で、1名の方が個人最優秀賞を受賞されました。

平均点をみていくと、〈預金〉の分野では〔問題-1〕預金の相続の問題が5.91点となっています。基礎的な理解を問う問題であり、また繰り返し出題されているテーマであることから、比較的よく記述されていました。〔問題-2〕制限行為能力者の預金の問題は4.02点となりました。〔問題-3〕休眠預金等活用法の問題は3.44点となりました。択一の正解率も低く、十分な理解がされていると思われる記述は少なく、条文を丁寧に追って正確な理解に努めていただきたいところです。

〈手形・小切手〉の分野では、〔問題-4〕裏書の連続の判断の問題は4.13点となりました。手

主要項目

- ▶ 〈第155回〉銀行業務検定試験成績発表
- ▶ 団体賞受賞団体等一覧
- ▶ 「証券」検定委員長ご就任のお知らせ
- ▶ 2023年度CBT方式試験のご案内
- ▶ 10月試験のご案内

〔表-1〕法務2級・業態別一覧表

(合格点は50点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

| | 都・特 銀 | 地 銀 | 信 託 | 第 二 地 銀 | 信 金 | 信 組 | 信 連 農 協 | 労 金 | 生 保 損 保 | 証 券 | 郵 政 | 他 団 体 個 人 | 全 体 |
|------|----------|--------|--------|------------------|--------|--------|------------------|--------|------------------|--------|--------|-----------------------|--------|
| 応募者数 | 44 | 605 | 13 | 79 | 943 | 51 | 54 | 32 | 3 | 0 | 0 | 314 | 2,138 |
| 応募比率 | 2.06 | 28.30 | 0.61 | 3.70 | 44.11 | 2.39 | 2.53 | 1.50 | 0.14 | 0.00 | 0.00 | 14.69 | 100.00 |
| 受験者数 | 40 | 501 | 8 | 66 | 814 | 43 | 49 | 28 | 2 | 0 | 0 | 194 | 1,745 |
| 受験率 | 90.91 | 82.81 | 61.54 | 83.54 | 86.32 | 84.31 | 90.74 | 87.50 | 66.67 | 0.00 | 0.00 | 61.78 | 81.62 |
| 合格者数 | 25 | 117 | 2 | 10 | 143 | 8 | 15 | 4 | 1 | 0 | 0 | 63 | 388 |
| 合格率 | 62.50 | 23.35 | 25.00 | 15.15 | 17.57 | 18.60 | 30.61 | 14.29 | 50.00 | 0.00 | 0.00 | 32.47 | 22.23 |
| 平均点 | 52.15 | 38.83 | 46.00 | 38.15 | 36.04 | 39.28 | 40.22 | 34.68 | 61.50 | 0.00 | 0.00 | 41.48 | 38.14 |
| 年齢 | 27.0 | 31.8 | 33.5 | 39.4 | 38.3 | 40.8 | 36.8 | 37.1 | 42.5 | 0.0 | 0.0 | 33.7 | 35.7 |
| 勤続年数 | 4.3 | 9.1 | 8.3 | 17.2 | 15.8 | 18.1 | 13.1 | 12.4 | 19.5 | 0.0 | 0.0 | 10.2 | 13.0 |

形要件（振出日や受取人等）が白地となっている白地手形と被裏書人欄が白地となっている白地式裏書を混同している答案が散見されました。〔問題－5〕自己宛小切手の事故届と支払責任の問題は4.17点となりました。判例的的確な摘示と正確なあてはめができたか否かで差がついた印象です。〔問題－6〕白地の不当補充と手形上の権利の問題は3.65点となりました。

〈融資〉の分野では、〔問題－7〕債務の相続の問題は2.80点となりました。択一の正解率は高かったものの、平均点は低いものとなりました。〔問題－8〕時効の管理の問題は2.98点となりました。時効管理は重要な業務の一つで、この点に関する民法の基礎的な知識については正確に理解するようにしていただきたいところです。〔問題－9〕仮差押えの問題は3.64点となりました。過去にも出題のあったテーマであり、高得点の答案も多いものでした。〔問題－10〕抵当権実行と抵当権消滅請求の問題は3.40点となりました。

すべての問題に共通することですが、①条文や判例等の根拠の提示→②事例・選択肢との比較・あてはめ→③結論（各選択肢の正誤判断）という基本的な論述形式を心がけてください。

法務3級

「法務3級」の成績結果は、〔表－2〕のとおりです。

応募者数5,825名中受験者は5,171名で、合格者は1,693名でした。合格率は32.74%、平均点

は50.98点で、ともに前回は上回りました。

最高点は100点で、2名の方が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〈預金〉〈決済〉の分野ではありませんでしたが、〈融資〉の分野では〔問－14〕債務引受、〔問－17〕預金担保、〔問－18〕抵当権、〔問－19〕根抵当権の譲渡、〔問－24〕民事再生手続の5問、〈銀行取引関連法〉の分野では、〔問－50〕貸金業法の1問で、計6問でした。

このうち〔問－18〕は、抵当権の法的性質を問うものでした。普通抵当権は、特定の債権を担保するものであるため、被担保債権が他に譲渡されると抵当権も債権とともに移転するという性質（随伴性）があり、抵当権の被担保債権が第三者に譲渡されると、抵当権は被担保債権の譲受人に移転します。基本的な知識として、正確に理解しておくことが期待されます。

財務2級

「財務2級」の成績結果は、〔表－3〕のとおりです。

応募者数4,529名中受験者は3,422名で、合格者は790名でした。合格率は23.09%、平均点は41.69点で、ともに前回は下回りました。

最高点は98点で、1名の方が個人最優秀賞を受賞されました。

最も平均点が低かった問題は、〔問題－2〕合併（平均点：1.29点）でした。次に低かった問題

〔表－2〕法務3級・業態別一覧表

（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

| | 都・特 銀 | 地 銀 | 信 託 | 第 二 地 銀 | 信 金 | 信 組 | 信・連 農 協 | 労 金 | 生・保 損 保 | 証 券 | 郵 政 | 他団体 個 人 | 全 体 |
|-------|----------|-------|-------|------------|-------|-------|------------|-------|------------|--------|--------|------------|--------|
| 応募者数 | 60 | 1,080 | 34 | 643 | 2,155 | 342 | 779 | 256 | 1 | 1 | 20 | 454 | 5,825 |
| 応募比率 | 1.03 | 18.54 | 0.58 | 11.04 | 37.00 | 5.87 | 13.37 | 4.39 | 0.02 | 0.02 | 0.34 | 7.79 | 100.00 |
| 受験者数 | 58 | 970 | 25 | 575 | 1,915 | 305 | 700 | 227 | 1 | 1 | 20 | 374 | 5,171 |
| 受 験 率 | 96.67 | 89.81 | 73.53 | 89.42 | 88.86 | 89.18 | 89.86 | 88.67 | 100.00 | 100.00 | 100.00 | 82.38 | 88.77 |
| 合格者数 | 31 | 368 | 11 | 189 | 593 | 80 | 175 | 70 | 1 | 1 | 7 | 167 | 1,693 |
| 合 格 率 | 53.45 | 37.94 | 44.00 | 32.87 | 30.97 | 26.23 | 25.00 | 30.84 | 100.00 | 100.00 | 35.00 | 44.65 | 32.74 |
| 平 均 点 | 55.72 | 52.85 | 53.20 | 51.14 | 50.39 | 49.07 | 47.72 | 50.40 | 98.00 | 66.00 | 52.60 | 55.83 | 50.98 |
| 年 齢 | 23.1 | 26.3 | 30.8 | 26.2 | 28.1 | 28.3 | 33.5 | 28.3 | 32.0 | 44.0 | 35.7 | 29.8 | 28.4 |
| 勤続年数 | 0.8 | 3.4 | 6.3 | 3.9 | 6.1 | 6.3 | 11.3 | 4.5 | 10.0 | 5.0 | 10.5 | 5.9 | 5.8 |

は、〔問題－４〕減損損失（平均点：2.82点）でした。

〔問題－２〕は、吸収合併した後の貸借対照表の各勘定科目の金額を算出し、のれんの会計処理について記述する問題でした。吸収する側の会社の資産と負債は帳簿価額で計上されますが、時価で算出した答案が散見されました。本問は、数年ぶりに出題したテーマということもあり、平均点は低めでした。

〔問題－４〕は、減損損失の認識の判定、減損損失の測定および減損処理を行った有形固定資産の貸借対照表上の表示方法について記述する問題でした。減損損失の認識の判定は、取得原価から減価償却累計額を差し引いた帳簿価額と割引前将来キャッシュ・フローを比較し、割引前将来キャッシュ・フローが帳簿価額を下回る場合に減損損失を認識しますが、取得原価と割引前将来キャッシュ・フローを比較している答案が散見さ

れました。本問は、過去にも出題されている問題でしたが、平均点は低めでした。

一方で、〔問題－３〕修正仕訳と連結貸借対照表の作成、〔問題－５〕貸倒引当金の会計処理、〔問題－６〕収益性指標による２社比較分析は、よく解答できていました。

全体の傾向として、勘定科目欄や語群にない科目や語句を記載する誤り、四捨五入か切上げかの指示に沿わない金額等を記載する誤り、設問の指示にある計算過程を明示しない、単位の表示の誤りといったミスが多く見受けられました。問題文を注意深く読み、正しい解答ができるように気をつけてください。

財務３級

「財務３級」の成績結果は、〔表－４〕のとおりです。

応募者数 6,074 名中受験者は 5,186 名で、合格

〔表－３〕財務２級・業態別一覧表

(合格点は 60 点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

| | 都・ 特銀 | 地銀 | 信託 | 第 二 地 銀 | 信 金 | 信 組 | 信 連 農 協 | 労 金 | 生 保 損 保 | 証 券 | 郵 政 | 他 団 体 個 人 | 全 体 |
|------|----------|-------|-------|------------------|--------|--------|------------------|--------|------------------|--------|--------|-----------------------|--------|
| 応募者数 | 92 | 1,524 | 18 | 225 | 1,216 | 51 | 46 | 6 | 17 | 1 | 24 | 1,309 | 4,529 |
| 応募比率 | 2.03 | 33.65 | 0.40 | 4.97 | 26.85 | 1.13 | 1.02 | 0.13 | 0.38 | 0.02 | 0.53 | 28.90 | 100.00 |
| 受験者数 | 80 | 1,186 | 12 | 176 | 995 | 47 | 42 | 5 | 9 | 0 | 16 | 854 | 3,422 |
| 受験率 | 86.96 | 77.82 | 66.67 | 78.22 | 81.83 | 92.16 | 91.30 | 83.33 | 52.94 | 0.00 | 66.67 | 65.24 | 75.56 |
| 合格者数 | 26 | 259 | 6 | 27 | 138 | 6 | 15 | 2 | 3 | 0 | 4 | 304 | 790 |
| 合格率 | 32.50 | 21.84 | 50.00 | 15.34 | 13.87 | 12.77 | 35.71 | 40.00 | 33.33 | 0.00 | 25.00 | 35.60 | 23.09 |
| 平均点 | 48.10 | 41.14 | 49.67 | 38.61 | 35.78 | 34.55 | 47.55 | 49.40 | 52.67 | 0.00 | 38.81 | 49.24 | 41.69 |
| 年齢 | 27.6 | 30.9 | 29.8 | 36.1 | 36.1 | 36.4 | 34.9 | 32.2 | 32.2 | 0.0 | 49.8 | 31.9 | 33.1 |
| 勤続年数 | 4.4 | 8.5 | 5.0 | 13.1 | 14.0 | 13.8 | 10.6 | 9.8 | 9.8 | 0.0 | 23.1 | 8.5 | 10.4 |

〔表－４〕財務３級・業態別一覧表

(合格点は 60 点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

| | 都・ 特銀 | 地銀 | 信託 | 第 二 地 銀 | 信 金 | 信 組 | 信 連 農 協 | 労 金 | 生 保 損 保 | 証 券 | 郵 政 | 他 団 体 個 人 | 全 体 |
|------|----------|-------|-------|------------------|--------|--------|------------------|--------|------------------|--------|--------|-----------------------|--------|
| 応募者数 | 217 | 1,489 | 76 | 382 | 2,427 | 401 | 329 | 7 | 50 | 3 | 40 | 653 | 6,074 |
| 応募比率 | 3.57 | 24.51 | 1.25 | 6.29 | 39.96 | 6.60 | 5.42 | 0.12 | 0.82 | 0.05 | 0.66 | 10.75 | 100.00 |
| 受験者数 | 200 | 1,288 | 64 | 317 | 2,127 | 340 | 290 | 6 | 27 | 3 | 29 | 495 | 5,186 |
| 受験率 | 92.17 | 86.50 | 84.21 | 82.98 | 87.64 | 84.79 | 88.15 | 85.71 | 54.00 | 100.00 | 72.50 | 75.80 | 85.38 |
| 合格者数 | 105 | 482 | 18 | 74 | 506 | 61 | 93 | 3 | 15 | 2 | 5 | 186 | 1,550 |
| 合格率 | 52.50 | 37.42 | 28.13 | 23.34 | 23.79 | 17.94 | 32.07 | 50.00 | 55.56 | 66.67 | 17.24 | 37.58 | 29.89 |
| 平均点 | 59.15 | 52.03 | 45.28 | 46.53 | 45.79 | 44.25 | 49.83 | 52.00 | 60.59 | 58.00 | 40.69 | 52.17 | 48.69 |
| 年齢 | 22.7 | 26.4 | 25.8 | 28.7 | 28.9 | 31.8 | 33.1 | 29.2 | 35.7 | 29.7 | 41.6 | 33.8 | 29.0 |
| 勤続年数 | 0.4 | 3.6 | 2.8 | 6.1 | 7.3 | 9.1 | 9.4 | 6.6 | 11.5 | 1.0 | 18.1 | 9.2 | 6.4 |

者は1,550名でした。合格率は29.89%、平均点は48.69点で、ともに前回は下回りました。

最高点は98点で、7名の方が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問－15〕当期製品製造原価の額の算出、〔問－19〕社債、〔問－22〕営業外損益の区分に記載される項目の組合せ、〔問－28〕収益認識に関する会計基準、〔問－33〕ROEの算出、の5問でした。

〔問－15〕は、当期製品製造原価の額の算出の問題でした。本問は、類題が第149回試験でも出題されましたが、当期総製造費用の額の算出の問題と誤って解答した受験者が多く見られました。

〔問－19〕は、社債についての問題でした。社債は、企業が市場から資金調達を行う際に、一定の期日に額面金額で返済をすることを約束して発行する債券（社債券）であり、他人資本による資金調達手段という点で借入金と共通します。本問では、自己資本である株式との違いを誤って解答した受験者が多く見られました。

〔問－28〕は、収益認識に関する会計基準に関する問題でした。当該会計基準は、2021年4月以後開始の事業年度から適用されています。本問は、特殊な販売形態による売上収益の認識時点などを問う問題でしたが、初出ということもあり正答率は低めでした。

本種目では、基本的な項目を中心に、応用的な出題形式にも対応できるように学習することが期待されます。

財務4級

「財務4級」の成績結果は、〔表－5〕のとおりです。

応募者数1,440名中受験者は1,352名で、合格者は722名でした。合格率は53.40%、平均点61.70点で、ともに前回は下回りました。

最高点は100点で、5名の方が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問－42〕売上高営業利益率に影響を与えないもの、の1問でした。

〔問－42〕は、売上高営業利益率に影響を与えない取引等を選択する問題でした。売上高営業利益率に影響を与えないものは、売上高、売上原価および販売費及び一般管理費に影響を与えないものです。仕入割引の減少は、営業外収益の変動要因なので、売上高営業利益率に影響を与えませんが、仕入割戻などの仕入の控除項目と誤って解答した受験者が多く見られました。

一方で、正解率が80%を超えた問題は、〔問－1〕簿記上の取引とならないもの、〔問－3〕営業循環基準が適用されないもの、〔問－38〕ソフトウェア、〔問－47〕受取手形の平均残高が最も多い企業、の4問でした。

本種目では、簿記の基本、各勘定取引、財務諸表、財務分析と幅広く出題されます。上級の3級や2級で応用が利くように、基礎レベルの知識をしっかりと学習して身に付けておくことが求められます。

〔表－5〕財務4級・業態別一覧表

(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

| | 都・ 特銀 | 地銀 | 信託 | 第 二 地 銀 | 信 金 | 信 組 | 信 ・ 連 農 協 | 労 金 | 生 ・ 保 損 保 | 証 券 | 郵 政 | 他 団 体 個 人 | 全 体 |
|------|----------|-------|------|------------------|--------|--------|-----------------------|--------|-----------------------|--------|--------|-----------------------|--------|
| 応募者数 | 2 | 26 | 0 | 127 | 811 | 226 | 156 | 4 | 0 | 1 | 0 | 87 | 1,440 |
| 応募比率 | 0.14 | 1.81 | 0.00 | 8.82 | 56.32 | 15.69 | 10.83 | 0.28 | 0.00 | 0.07 | 0.00 | 6.04 | 100.00 |
| 受験者数 | 2 | 25 | 0 | 118 | 766 | 208 | 148 | 4 | 0 | 1 | 0 | 80 | 1,352 |
| 受験率 | 100.00 | 96.15 | 0.00 | 92.91 | 94.45 | 92.04 | 94.87 | 100.00 | 0.00 | 100.00 | 0.00 | 91.95 | 93.89 |
| 合格者数 | 2 | 15 | 0 | 56 | 437 | 96 | 64 | 4 | 0 | 1 | 0 | 47 | 722 |
| 合格率 | 100.00 | 60.00 | 0.00 | 47.46 | 57.05 | 46.15 | 43.24 | 100.00 | 0.00 | 100.00 | 0.00 | 58.75 | 53.40 |
| 平均点 | 84.00 | 62.16 | 0.00 | 60.05 | 63.36 | 57.88 | 57.85 | 71.50 | 0.00 | 70.00 | 0.00 | 64.08 | 61.70 |
| 年齢 | 42.0 | 24.0 | 0.0 | 23.9 | 25.3 | 23.8 | 25.2 | 36.0 | 0.0 | 47.0 | 0.0 | 28.1 | 25.1 |
| 勤続年数 | 1.0 | 3.0 | 0.0 | 1.2 | 4.1 | 1.8 | 2.7 | 6.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 3.2 | 3.3 |

信託実務3級

「信託実務3級」の成績結果は、〔表-6〕のとおりです。

応募者数445名中受験者は344名で、合格者は166名でした。合格率は48.26%、平均点は56.67点で、ともに前回は上回りました。

最高点は94点で、1名の方が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問-1〕信託の歴史、〔問-4〕信託の設定、〔問-11〕信託の公示(対抗要件)、〔問-13〕受益者代理人、〔問-27〕住宅財形信託、〔問-45〕特定公益信託、の6問でした。

全般的には好成績であり、よく学習されていたことがうかがえます。今回は〈信託の基礎〉の分野において正解率の低い結果となった問題が集中していました。それらの問題の解答状況をみると、出題としては若干応用力を試す内容を含むも

のもあり、過去問の選択肢を暗記しただけでは正解にたどり着くのが難しかった問題もあったようです。各問題とも最新の問題解説集の類題の解説や単行本『信託の基礎』をよく学習したうえで試験に臨んでいただければ正答しやすかったと考えます。

金融経済3級

「金融経済3級」の成績結果は、〔表-7〕のとおりです。

応募者数1,262名中受験者は1,146名で、合格者は595名でした。合格率は51.92%、平均点は58.77点で、ともに前回は上回りました。

最高点は88点で、4名の方が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〈金融〉の分野では〔問-25〕企業金融の1問、〈経済〉の分野では〔問-32〕わが国の経済活動、〔問-

〔表-6〕 信託実務3級・業態別一覧表

(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

| | 都・ 特銀 | 地銀 | 信託 | 第 二 地 銀 | 信 金 | 信 組 | 信 連 農 協 | 労 金 | 生 保 損 保 | 証 券 | 郵 政 | 他 団 体 個 人 | 全 体 |
|------|----------|-------|-------|------------------|--------|--------|------------------|--------|------------------|--------|--------|-----------------------|--------|
| 応募者数 | 6 | 142 | 50 | 8 | 70 | 0 | 25 | 0 | 0 | 0 | 0 | 144 | 445 |
| 応募比率 | 1.35 | 31.91 | 11.24 | 1.80 | 15.73 | 0.00 | 5.62 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 32.36 | 100.00 |
| 受験者数 | 5 | 118 | 45 | 7 | 58 | 0 | 22 | 0 | 0 | 0 | 0 | 89 | 344 |
| 受験率 | 83.33 | 83.10 | 90.00 | 87.50 | 82.86 | 0.00 | 88.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 61.81 | 77.30 |
| 合格者数 | 4 | 53 | 32 | 1 | 23 | 0 | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 47 | 166 |
| 合格率 | 80.00 | 44.92 | 71.11 | 14.29 | 39.66 | 0.00 | 27.27 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 52.81 | 48.26 |
| 平均点 | 66.40 | 56.27 | 67.60 | 44.86 | 50.14 | 0.00 | 48.64 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 58.29 | 56.67 |
| 年齢 | 23.4 | 36.3 | 30.8 | 35.7 | 41.5 | 0.0 | 43.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 40.1 | 37.7 |
| 勤続年数 | 1.0 | 13.1 | 5.4 | 13.0 | 17.6 | 0.0 | 18.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 14.1 | 13.4 |

〔表-7〕 金融経済3級・業態別一覧表

(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

| | 都・ 特銀 | 地銀 | 信託 | 第 二 地 銀 | 信 金 | 信 組 | 信 連 農 協 | 労 金 | 生 保 損 保 | 証 券 | 郵 政 | 他 団 体 個 人 | 全 体 |
|------|----------|-------|-------|------------------|--------|--------|------------------|--------|------------------|--------|--------|-----------------------|--------|
| 応募者数 | 7 | 504 | 76 | 64 | 147 | 44 | 60 | 19 | 74 | 14 | 0 | 253 | 1,262 |
| 応募比率 | 0.55 | 39.94 | 6.02 | 5.07 | 11.65 | 3.49 | 4.75 | 1.51 | 5.86 | 1.11 | 0.00 | 20.05 | 100.00 |
| 受験者数 | 6 | 478 | 69 | 61 | 136 | 42 | 56 | 18 | 55 | 14 | 0 | 211 | 1,146 |
| 受験率 | 85.71 | 94.84 | 90.79 | 95.31 | 92.52 | 95.45 | 93.33 | 94.74 | 74.32 | 100.00 | 0.00 | 83.40 | 90.81 |
| 合格者数 | 4 | 281 | 32 | 28 | 55 | 20 | 35 | 10 | 21 | 10 | 0 | 99 | 595 |
| 合格率 | 66.67 | 58.79 | 46.38 | 45.90 | 40.44 | 47.62 | 62.50 | 55.56 | 38.18 | 71.43 | 0.00 | 46.92 | 51.92 |
| 平均点 | 62.00 | 61.05 | 57.42 | 56.66 | 55.13 | 56.24 | 60.32 | 59.33 | 54.33 | 64.57 | 0.00 | 57.73 | 58.77 |
| 年齢 | 30.8 | 30.2 | 31.9 | 35.5 | 39.6 | 36.7 | 35.1 | 38.2 | 35.8 | 25.1 | 0.0 | 37.0 | 33.8 |
| 勤続年数 | 10.4 | 7.7 | 8.2 | 14.2 | 16.0 | 14.4 | 13.7 | 13.1 | 9.9 | 0.7 | 0.0 | 12.7 | 10.8 |

35) 物価指数、〔問－45〕世界各国の人口の3問、〈財政〉の分野では〔問－46〕基礎的財政収支の1問で、計5問でした。

地政学上の対立や世界的な物価高など金融・経済に関して不安視される要素が多い一方で、産業では新しい技術が日々報じられ、注目を集めています。本種目では、昨今の金融・経済情勢を読み解く幅広い分野から出題しています。試験勉強で得た知識を実務に役立てていただけますと幸いです。

■デリバティブ3級

「デリバティブ3級」の成績結果は、〔表－8〕のとおりです。

応募者数453名中受験者は328名で、合格者は152名でした。合格率は46.34%、平均点は54.60点で、ともに前回は上回りました。

最高点は98点で、1名の方が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問－7〕大阪取引所で取引されていない先物、〔問－15〕日経平均先物と現物の裁定取引、〔問－26〕ドル償還特約付円貨債券、〔問－48〕期待ショートフォール、の4問でした。

〔問－7〕は前回の新テーマで今回2回目の出題であったことから、十分に理解されていなかったと思われる。

〔問－15〕〔問－48〕は新テーマのため、難度の高い問題であったといえます。

〔問－26〕は、これまで本テーマは（投資家からみて）プット・オプションの売りを内包する債券について問うことが多かったですが、今回はドル安方向にバリアのあるノックイン・タイプのドル・プットの売りとドル・コールの買いを内包する債券についての出題でした。内包されているデリバティブが複雑な分、難しい問題であったといえます。

■窓口セールス3級

「窓口セールス3級」の成績結果は、〔表－9〕のとおりです。

応募者数676名中受験者は628名で、合格者は230名でした。合格率は36.62%、平均点は53.57点で、ともに前回は上回りました。

最高点は80点で、1名の方が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問－8〕個人情報とマイナンバー制度、〔問－10〕手形・小切手の取扱い、〔問－15〕財形貯蓄、〔問－16〕ねんきん定期便の見方、〔問－21〕特殊詐欺の種類、〔問－23〕成年後見制度、〔問－30〕定期預金の解約時における受取利息額の計算、〔問－43〕相続時精算課税制度、〔問－48〕保険契約のクーリングオフ、〔問－50〕退職後の公的医療保険制度、の10問でした。

特殊詐欺の種類については、お客様の大切な資産を守るためにも、それぞれの手口の特徴を把握しておきましょう。

〔表－8〕デリバティブ3級・業態別一覧表

(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

| | 都・特 銀 | 地 銀 | 信 託 | 第 二 地 銀 | 信 金 | 信 組 | 信・連 農 協 | 労 金 | 生・保 損 保 | 証 券 | 郵 政 | 他団体 個人 | 全 体 |
|-------|----------|-------|-------|------------|-------|--------|------------|-------|------------|--------|------|-----------|--------|
| 応募者数 | 17 | 194 | 36 | 6 | 8 | 1 | 8 | 4 | 0 | 2 | 0 | 177 | 453 |
| 応募比率 | 3.75 | 42.83 | 7.95 | 1.32 | 1.77 | 0.22 | 1.77 | 0.88 | 0.00 | 0.44 | 0.00 | 39.07 | 100.00 |
| 受験者数 | 13 | 153 | 28 | 2 | 7 | 1 | 7 | 3 | 0 | 2 | 0 | 112 | 328 |
| 受 験 率 | 76.47 | 78.87 | 77.78 | 33.33 | 87.50 | 100.00 | 87.50 | 75.00 | 0.00 | 100.00 | 0.00 | 63.28 | 72.41 |
| 合格者数 | 9 | 65 | 11 | 1 | 5 | 0 | 6 | 0 | 0 | 1 | 0 | 54 | 152 |
| 合 格 率 | 69.23 | 42.48 | 39.29 | 50.00 | 71.43 | 0.00 | 85.71 | 0.00 | 0.00 | 50.00 | 0.00 | 48.21 | 46.34 |
| 平均点 | 63.08 | 51.82 | 55.36 | 41.00 | 63.14 | 34.00 | 68.00 | 47.33 | 0.00 | 55.00 | 0.00 | 56.48 | 54.60 |
| 年 齢 | 29.6 | 34.1 | 32.4 | 35.0 | 38.9 | 42.0 | 32.7 | 44.7 | 0.0 | 25.5 | 0.0 | 32.0 | 33.2 |
| 勤続年数 | 8.2 | 11.5 | 10.7 | 11.0 | 15.0 | 20.0 | 14.0 | 23.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 9.3 | 10.9 |

法人融資渉外2級

「法人融資渉外2級」の成績結果は、〔表－10〕のとおりです。

応募者数337名中受験者は265名で、合格者は73名でした。合格率は27.55%、平均点は45.77点で、合格率は前回は上回りましたが、平均点は前回は下回りました。

最高点は77点で、2名の方が個人最優秀賞を受賞されました。

今回、平均点が5点を越えた問題は、Ⅰ〔損益分岐点分析〕、Ⅲ〔キャッシュ・フロー分析〕、Ⅷ〔債権管理・回収〕、の3問でした。

一方、平均点が3点以下の問題はありませんでした。

過去に出題した分野に関する平均点は高く、重要な論点についての理解が進んでいると思われる結果となりました。

2級の解答について、「数字の根拠を示して」

や「計算式を示して」など、問題文中に指示がある問題については、解答の数字以外にも、どのようにその答えを導き出したのかを解答用紙に示すことが求められます。それ以外にも、記述に際してはなぜこの答えになるのか、理路整然とした形で解答できるよう、アウトプットの訓練も大切です。

法人融資渉外3級

「法人融資渉外3級」の成績結果は、〔表－11〕のとおりです。

応募者数574名中受験者は483名で、合格者は154名でした。合格率は31.88%（合格基準点52点→11頁参照）、平均点は44.18点でした。

最高点は74点で、3名の方が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問－2〕公的土地評価、〔問－3〕金融用語、〔問－10〕

〔表－9〕窓口セールス3級・業態別一覧表

(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

| | 都・ 特銀 | 地銀 | 信託 | 第 地銀 | 信 金 | 信 組 | 信・ 連 農協 | 労 金 | 生・ 保 損保 | 証 券 | 郵 政 | 他 団 体 個 人 | 全 体 |
|------|----------|-------|------|---------|--------|--------|---------------|--------|---------------|--------|--------|-----------------------|--------|
| 応募者数 | 5 | 209 | 0 | 44 | 241 | 53 | 65 | 8 | 0 | 0 | 1 | 50 | 676 |
| 応募比率 | 0.74 | 30.92 | 0.00 | 6.51 | 35.65 | 7.84 | 9.62 | 1.18 | 0.00 | 0.00 | 0.15 | 7.40 | 100.00 |
| 受験者数 | 5 | 196 | 0 | 41 | 227 | 46 | 60 | 7 | 0 | 0 | 1 | 45 | 628 |
| 受験率 | 100.00 | 93.78 | 0.00 | 93.18 | 94.19 | 86.79 | 92.31 | 87.50 | 0.00 | 0.00 | 100.00 | 90.00 | 92.90 |
| 合格者数 | 2 | 95 | 0 | 14 | 70 | 11 | 15 | 3 | 0 | 0 | 0 | 20 | 230 |
| 合格率 | 40.00 | 48.47 | 0.00 | 34.15 | 30.84 | 23.91 | 25.00 | 42.86 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 44.44 | 36.62 |
| 平均点 | 57.60 | 57.56 | 0.00 | 53.07 | 51.58 | 51.39 | 48.17 | 51.71 | 0.00 | 0.00 | 38.00 | 56.36 | 53.57 |
| 年齢 | 37.0 | 31.0 | 0.0 | 30.6 | 30.2 | 27.9 | 29.7 | 38.0 | 0.0 | 0.0 | 38.0 | 36.0 | 30.8 |
| 勤続年数 | 17.0 | 8.1 | 0.0 | 5.9 | 8.0 | 5.3 | 10.1 | 2.8 | 0.0 | 0.0 | 16.0 | 12.9 | 8.3 |

〔表－10〕法人融資渉外2級・業態別一覧表

(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

| | 都・ 特銀 | 地銀 | 信託 | 第 地銀 | 信 金 | 信 組 | 信・ 連 農協 | 労 金 | 生・ 保 損保 | 証 券 | 郵 政 | 他 団 体 個 人 | 全 体 |
|------|----------|-------|------|---------|--------|--------|---------------|--------|---------------|--------|--------|-----------------------|--------|
| 応募者数 | 4 | 151 | 0 | 18 | 55 | 11 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 93 | 337 |
| 応募比率 | 1.19 | 44.81 | 0.00 | 5.34 | 16.32 | 3.26 | 1.48 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 27.60 | 100.00 |
| 受験者数 | 3 | 123 | 0 | 13 | 46 | 9 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 66 | 265 |
| 受験率 | 75.00 | 81.46 | 0.00 | 72.22 | 83.64 | 81.82 | 100.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 70.97 | 78.64 |
| 合格者数 | 3 | 32 | 0 | 1 | 9 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 27 | 73 |
| 合格率 | 100.00 | 26.02 | 0.00 | 7.69 | 19.57 | 0.00 | 20.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 40.91 | 27.55 |
| 平均点 | 68.00 | 45.99 | 0.00 | 35.46 | 42.50 | 35.44 | 40.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 50.48 | 45.77 |
| 年齢 | 30.3 | 34.0 | 0.0 | 37.9 | 39.6 | 41.1 | 29.8 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 34.6 | 35.5 |
| 勤続年数 | 7.7 | 11.6 | 0.0 | 14.6 | 17.7 | 18.8 | 6.8 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 11.0 | 12.8 |

定量分析、〔問－17〕損益計算書、〔問－19〕法人税の申告・納付、〔問－22〕相続、〔問－24〕M&Aの知識、〔問－25〕事業再生、〔問－26〕取引先破産・民事再生時の対応、〔問－27〕中小企業活性化協議会、〔問－30〕取引先へのヒアリングのポイント、〔問－33〕増加運転資金、〔問－34〕増加運転資金の計算、〔問－40〕為替リスク対策等、〔問－41〕M&Aの手順、〔問－42〕企業価値の算定方法、の16問でした。

本種目では、法務、財務、税務に関する知識に加え、取引先の問題解決に関する内容等、総合的な理解が求められます。幅広く、様々な知識を習得することが重要です。

個人融資渉外3級

「個人融資渉外3級」の成績結果は、〔表－12〕のとおりです。

応募者数 662 名中受験者は 614 名で、合格者は

246 名でした。合格率は 40.07%、平均点は 53.66 点で、ともに前回は上回りました。

最高点は 86 点で、1 名の方が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が 30% 以下となった問題は、〔問－9〕住宅金融支援機構「サービス付き高齢者向け賃貸住宅建設融資」、〔問－10〕住宅金融支援機構【フラット35】親子リレー返済、〔問－17〕でんさい（電子記録債権）、〔問－21〕不動産担保に関する知識、〔問－22〕取引の相手方に関する留意点、〔問－30〕民事信託、〔問－32〕【フラット35】の勧誘、〔問－36〕教育ローンの融資相談（返済比率）、〔問－50〕相続発生時の対応等、の9問でした。

本種目では、各種ローン商品の知識などをはじめとして、個人にかかる渉外業務において必要な業務知識の習得度合いが判断されます。学習に際しては、融資業務の基本事項に加え、これまで積

〔表－11〕法人融資渉外3級・業態別一覧表

(合格点は52点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

| | 都・ 特銀 | 地銀 | 信託 | 第 二 地 銀 | 信 金 | 信 組 | 信 連 農 協 | 労 金 | 生 保 損 保 | 証 券 | 郵 政 | 他 団 体 個 人 | 全 体 |
|------|----------|-------|------|------------------|--------|--------|------------------|--------|------------------|--------|--------|-----------------------|--------|
| 応募者数 | 7 | 205 | 0 | 37 | 188 | 58 | 10 | 1 | 0 | 0 | 1 | 67 | 574 |
| 応募比率 | 1.22 | 35.71 | 0.00 | 6.45 | 32.75 | 10.10 | 1.74 | 0.17 | 0.00 | 0.00 | 0.17 | 11.67 | 100.00 |
| 受験者数 | 6 | 175 | 0 | 30 | 153 | 52 | 10 | 1 | 0 | 0 | 1 | 55 | 483 |
| 受験率 | 85.71 | 85.37 | 0.00 | 81.08 | 81.38 | 89.66 | 100.00 | 100.00 | 0.00 | 0.00 | 100.00 | 82.09 | 84.15 |
| 合格者数 | 5 | 75 | 0 | 7 | 31 | 8 | 4 | 1 | 0 | 0 | 1 | 22 | 154 |
| 合格率 | 83.33 | 42.86 | 0.00 | 23.33 | 20.26 | 15.38 | 40.00 | 100.00 | 0.00 | 0.00 | 100.00 | 40.00 | 31.88 |
| 平均点 | 51.00 | 47.70 | 0.00 | 39.20 | 41.08 | 39.77 | 46.00 | 66.00 | 0.00 | 0.00 | 54.00 | 46.84 | 44.18 |
| 年齢 | 26.8 | 30.7 | 0.0 | 35.0 | 35.0 | 36.9 | 38.7 | 43.0 | 0.0 | 0.0 | 38.0 | 34.2 | 33.6 |
| 勤続年数 | 4.8 | 8.3 | 0.0 | 14.5 | 12.8 | 15.2 | 15.7 | 18.0 | 0.0 | 0.0 | 16.0 | 11.8 | 11.3 |

〔表－12〕個人融資渉外3級・業態別一覧表

(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

| | 都・ 特銀 | 地銀 | 信託 | 第 二 地 銀 | 信 金 | 信 組 | 信 連 農 協 | 労 金 | 生 保 損 保 | 証 券 | 郵 政 | 他 団 体 個 人 | 全 体 |
|------|----------|-------|--------|------------------|--------|--------|------------------|--------|------------------|--------|--------|-----------------------|--------|
| 応募者数 | 0 | 227 | 1 | 41 | 208 | 32 | 93 | 11 | 0 | 0 | 0 | 49 | 662 |
| 応募比率 | 0.00 | 34.29 | 0.15 | 6.19 | 31.42 | 4.83 | 14.05 | 1.66 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 7.40 | 100.00 |
| 受験者数 | 0 | 210 | 1 | 39 | 195 | 31 | 86 | 11 | 0 | 0 | 0 | 41 | 614 |
| 受験率 | 0.00 | 92.51 | 100.00 | 95.12 | 93.75 | 96.88 | 92.47 | 100.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 83.67 | 92.75 |
| 合格者数 | 0 | 108 | 1 | 11 | 70 | 8 | 17 | 5 | 0 | 0 | 0 | 26 | 246 |
| 合格率 | 0.00 | 51.43 | 100.00 | 28.21 | 35.90 | 25.81 | 19.77 | 45.45 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 63.41 | 40.07 |
| 平均点 | 0.00 | 58.24 | 86.00 | 50.77 | 53.94 | 51.87 | 41.12 | 54.55 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 58.24 | 53.66 |
| 年齢 | 0.0 | 33.7 | 57.0 | 32.9 | 34.1 | 39.2 | 32.4 | 30.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 39.7 | 34.2 |
| 勤続年数 | 0.0 | 12.5 | 35.0 | 10.1 | 12.2 | 16.8 | 9.8 | 8.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 15.3 | 12.4 |

み重ねてきた金融業務の基本的な知識を再確認しておくことが重要です。

金融商品取引3級

「金融商品取引3級」の成績結果は、〔表－13〕のとおりです。

応募者数388名中受験者は344名で、合格者は128名でした。合格率は37.21%、平均点は53.47点で、ともに前回は上回りました。

最高点は88点で、1名の方が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問－1〕最近の金融関連法令等の改正等、〔問－2〕証券市場の仕組み、〔問－22〕投資信託の目論見書の記載事項、〔問－23〕投資信託の適時開示、〔問－27〕非公開情報の取扱い、〔問－33〕投資信託委託会社の運用や議決権行使、〔問－34〕投資信託委託会社の義務等、の7問でした。

本種目は、リスク性金融商品を取り扱うために必要な知識や金融市場における法規制やルールに関する基本知識などの習得程度を測る試験です。金融商品取引法をはじめ、同法施行令、金融サービス提供法、金融商品取引業者等に関する内閣府令等様々な法令等を根拠として知っておく必要がありますが、出題の傾向は問題解説集や公式テキストで把握することが可能ですので、学習の際にお役立てください。

事業性評価3級

「事業性評価3級」の成績結果は、〔表－14〕のとおりです。

応募者数688名中受験者は623名で、合格者は135名でした。合格率は21.67%、平均点は50.87点で、ともに前回は下回りました。

最高点は80点で、1名の方が個人最優秀賞を受賞されました。

〔表－13〕 金融商品取引3級・業態別一覧表

(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

| | 都・特 銀 | 地 銀 | 信 託 | 第 二 地 銀 | 信 金 | 信 組 | 信 連 農 協 | 労 金 | 生 保 損 保 | 証 券 | 郵 政 | 他 団 体 個 人 | 全 体 |
|------|----------|--------|--------|------------------|--------|--------|------------------|--------|------------------|--------|--------|-----------------------|--------|
| 応募者数 | 5 | 171 | 1 | 32 | 100 | 6 | 17 | 16 | 1 | 1 | 0 | 38 | 388 |
| 応募比率 | 1.29 | 44.07 | 0.26 | 8.25 | 25.77 | 1.55 | 4.38 | 4.12 | 0.26 | 0.26 | 0.00 | 9.79 | 100.00 |
| 受験者数 | 5 | 157 | 1 | 28 | 88 | 6 | 10 | 15 | 0 | 1 | 0 | 33 | 344 |
| 受験率 | 100.00 | 91.81 | 100.00 | 87.50 | 88.00 | 100.00 | 58.82 | 93.75 | 0.00 | 100.00 | 0.00 | 86.84 | 88.66 |
| 合格者数 | 3 | 71 | 1 | 9 | 17 | 1 | 3 | 5 | 0 | 0 | 0 | 18 | 128 |
| 合格率 | 60.00 | 45.22 | 100.00 | 32.14 | 19.32 | 16.67 | 30.00 | 33.33 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 54.55 | 37.21 |
| 平均点 | 56.40 | 56.88 | 62.00 | 51.21 | 47.11 | 44.33 | 54.20 | 51.47 | 0.00 | 54.00 | 0.00 | 57.76 | 53.47 |
| 年齢 | 31.6 | 34.0 | 45.0 | 35.2 | 34.4 | 40.8 | 42.6 | 34.0 | 0.0 | 28.0 | 0.0 | 36.5 | 34.8 |
| 勤続年数 | 3.3 | 11.3 | 23.0 | 15.1 | 12.1 | 16.0 | 21.7 | 11.8 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 11.8 | 12.0 |

〔表－14〕 事業性評価3級・業態別一覧表

(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

| | 都・特 銀 | 地 銀 | 信 託 | 第 二 地 銀 | 信 金 | 信 組 | 信 連 農 協 | 労 金 | 生 保 損 保 | 証 券 | 郵 政 | 他 団 体 個 人 | 全 体 |
|------|----------|--------|--------|------------------|--------|--------|------------------|--------|------------------|--------|--------|-----------------------|--------|
| 応募者数 | 2 | 174 | 0 | 39 | 214 | 62 | 146 | 0 | 0 | 0 | 0 | 51 | 688 |
| 応募比率 | 0.29 | 25.29 | 0.00 | 5.67 | 31.10 | 9.01 | 21.22 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 7.41 | 100.00 |
| 受験者数 | 2 | 159 | 0 | 33 | 188 | 55 | 141 | 0 | 0 | 0 | 0 | 45 | 623 |
| 受験率 | 100.00 | 91.38 | 0.00 | 84.62 | 87.85 | 88.71 | 96.58 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 88.24 | 90.55 |
| 合格者数 | 1 | 63 | 0 | 2 | 30 | 4 | 24 | 0 | 0 | 0 | 0 | 11 | 135 |
| 合格率 | 50.00 | 39.62 | 0.00 | 6.06 | 15.96 | 7.27 | 17.02 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 24.44 | 21.67 |
| 平均点 | 65.00 | 56.19 | 0.00 | 48.79 | 48.88 | 45.89 | 48.78 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 53.96 | 50.87 |
| 年齢 | 45.0 | 31.1 | 0.0 | 34.5 | 36.4 | 36.1 | 40.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 35.2 | 35.8 |
| 勤続年数 | 32.0 | 9.7 | 0.0 | 16.0 | 15.0 | 13.3 | 17.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 13.4 | 13.6 |

正解率が30%以下となった問題は、〔問－13〕強みの理解、〔問－15〕4C、〔問－24〕事業承継支援、〔問－26〕補助金の活用、〔問－40〕地方創生、〔問－44〕採算改善への助言、の6問でした。

事業性評価を行うためには、取引先の属する様々な業界について理解を深めておくことが重要です。また、外部専門家等の活用方法についても事前に理解しておくことで、取引先に幅広い支援を提供することが可能となります。今回正解率が低かった各種制度についても、日頃からチェックすると実務に役立ちます。本種目で得た知識を実務で活用してください。

● 営路店マネジメントⅠ

「営路店マネジメントⅠ」の成績結果は、〔表－15〕のとおりです。

応募者数877名中受験者は741名で、合格者は273名でした。合格率は36.84%、平均点は56.50点で、ともに前を下回りました。

最高点は82点で、2名の方が個人最優秀賞を受賞されました。

10題中、平均点が5点を下回ったのは、〔問題－2〕組織の強化と支店長の役割、〔問題－10〕人的資本経営、の2題でした。

特に、〔問題－10〕で取り上げた「人的資本経営」については、SDGsの取組みやESG経営との相互関連・結びつきといった面からも重要なテーマですので、この機会に改めて学習しておく

ようにしましょう。

本種目の出題範囲は多岐にわたりますが、優れたマネジメントを実践するためには、マネジメントにかかる理論や各種手法についても深い理解が求められます。これらを日頃から積極的に意識しつつ業務を行い、より実践的な知識を身に付けていただきたいと思います。

● 営路店マネジメントⅡ

「営路店マネジメントⅡ」の成績結果は、〔表－16〕のとおりです。

応募者数1,196名中受験者は1,063名で、合格者は463名でした。合格率は43.56%、平均点は56.78点で、ともに前を下回りました。

最高点は86点で、1名の方が個人最優秀賞を受賞されました。

本種目は、〈四択択一式〉と〈記述式〉で構成されています。

〈四択択一式〉で正解率が30%以下となった問題は、〔問－1〕管理手段の7要件、〔問－14〕労務管理（育児・介護休業法）、〔問－20〕顧客情報の管理（個人情報保護法）、〔問－21〕リスクマネジメント（災害対策）、〔問－37〕所得倍増プラン、〔問－38〕カーボンニュートラル、の6問でした。

また、〈記述式〉で平均点が5点を下回ったのは、〔問－41〕仕事の任せ方と指導、〔問－42〕人と組織のマネジメント（育児休業制度）、の2題でした。

〔表－15〕 営路店マネジメントⅠ・業態別一覧表 (合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

| | 都・ 特銀 | 地銀 | 信託 | 第 二 地 銀 | 信 金 | 信 組 | 信 ・ 連 農 協 | 労 金 | 生 ・ 保 損 保 | 証 券 | 郵 政 | 他 団 体 個 人 | 全 体 |
|------|----------|-------|------|------------------|--------|--------|-----------------------|--------|-----------------------|--------|--------|-----------------------|--------|
| 応募者数 | 38 | 410 | 0 | 92 | 89 | 15 | 0 | 34 | 0 | 0 | 0 | 199 | 877 |
| 応募比率 | 4.33 | 46.75 | 0.00 | 10.49 | 10.15 | 1.71 | 0.00 | 3.88 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 22.69 | 100.00 |
| 受験者数 | 37 | 357 | 0 | 80 | 73 | 12 | 0 | 28 | 0 | 0 | 0 | 154 | 741 |
| 受験率 | 97.37 | 87.07 | 0.00 | 86.96 | 82.02 | 80.00 | 0.00 | 82.35 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 77.39 | 84.49 |
| 合格者数 | 25 | 131 | 0 | 20 | 19 | 1 | 0 | 11 | 0 | 0 | 0 | 66 | 273 |
| 合格率 | 67.57 | 36.69 | 0.00 | 25.00 | 26.03 | 8.33 | 0.00 | 39.29 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 42.86 | 36.84 |
| 平均点 | 63.51 | 56.45 | 0.00 | 54.18 | 53.73 | 50.25 | 0.00 | 57.32 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 57.79 | 56.50 |
| 年齢 | 37.4 | 41.0 | 0.0 | 41.1 | 44.1 | 41.6 | 0.0 | 43.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 41.5 | 41.3 |
| 勤続年数 | 12.8 | 18.3 | 0.0 | 18.6 | 22.0 | 20.2 | 0.0 | 20.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 18.6 | 18.6 |

本種目の出題範囲は多岐にわたりますが、初級管理者にとって必須となるマネジメントの理論や手法等の基本を問う試験となっています。また、一般常識の分野については、問題解説集や参考書

籍だけではなく、報道で取り上げられるような話題性の高い事項や金融業務に関する基本的な事項等にも関心をもって幅広く情報収集を行っていただきたいと思います。

〔表－16〕 営業店マネジメントⅡ・業態別一覧表 (合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

| | 都・銀 特 銀 | 地 銀 | 信 託 | 第 二 地 銀 | 信 金 | 信 組 | 信・連 農 協 | 労 金 | 生・保 損 保 | 証 券 | 郵 政 | 他団体 個 人 | 全 体 |
|-------|------------|-------|--------|------------|-------|-------|------------|-------|------------|------|------|------------|--------|
| 応募者数 | 9 | 320 | 1 | 130 | 328 | 49 | 18 | 174 | 0 | 0 | 0 | 167 | 1,196 |
| 応募比率 | 0.75 | 26.76 | 0.08 | 10.87 | 27.42 | 4.10 | 1.51 | 14.55 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 13.96 | 100.00 |
| 受験者数 | 9 | 278 | 1 | 121 | 304 | 44 | 17 | 142 | 0 | 0 | 0 | 147 | 1,063 |
| 受 験 率 | 100.00 | 86.88 | 100.00 | 93.08 | 92.68 | 89.80 | 94.44 | 81.61 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 88.02 | 88.88 |
| 合格者数 | 7 | 129 | 1 | 46 | 134 | 10 | 7 | 54 | 0 | 0 | 0 | 75 | 463 |
| 合 格 率 | 77.78 | 46.40 | 100.00 | 38.02 | 44.08 | 22.73 | 41.18 | 38.03 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 51.02 | 43.56 |
| 平 均 点 | 65.78 | 57.84 | 63.00 | 55.39 | 56.75 | 49.50 | 54.29 | 56.18 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 58.41 | 56.78 |
| 年 齢 | 37.9 | 39.3 | 33.0 | 39.5 | 41.8 | 43.2 | 46.2 | 38.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 35.9 | 39.7 |
| 勤続年数 | 16.3 | 16.9 | 11.0 | 16.5 | 20.0 | 20.1 | 22.7 | 14.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 12.7 | 17.0 |

事務局からのお知らせ

第 155 回銀行業務検定試験
「法人融資渉外3級」合格基準点引下げについて

標記試験につきまして、事務局が想定していた結果と大きく乖離する低い成績となりました。このため、試験委員会にて協議・検討し、合格基準点を60点から52点に引き下げることにいたしました。この措置による合格率は31.88%です。

試験問題の作成にあたりましては、出題レベルの一定水準の維持に努めているところですが、今回このような措置をとることとなりましたこととお詫び申し上げます。



「証券」検定委員長

もりた ときお
森田 宗男 氏 にご就任



銀行業務検定試験「証券」の検定委員長・関要氏のご退任に伴い、2023年度より、新「証券」検定委員長として株式会社農林中金総合研究所のエグゼクティブ・アドバイザーの森田宗男氏にご就任を賜ることになりました。

森田氏は、1985年に大蔵省（現財務省）に入省され、以後、銀行局、主計局、延岡税務署長、国際金融局、OECD日本政府代表部、証券局、金融企画局、国際通貨基金（IMF）勤務等を経て2007年より金融庁に在職。金融庁においては、監督局証券課長、同銀行第一課長、総務企画局審議官（企業開示担当）、証券取引等監視委員会事務局長、総合政策局長等を歴任後、2020年に金融国際審議官に就任。2021年7月に退官、同年11月より、株式会社農林中金総合研究所のエグゼクティブ・アドバイザーに就任され、現在に至っております。

金融庁在職中は、バーゼル銀行監督委員会の委員や IOSCO（証券監督者国際機構）のアジア太平洋地域部会長等も務められ、リーマンショック後の国際金融規制改革の交渉に携わられました。

趣味はクラシック音楽鑑賞で、とくにワーグナーのオペラがお好きとのこと。

森田氏には、この度「証券」の検定委員長としてご協力を賜ることにより、豊富なご経験と国内外の金融行政等に関する高いご識見を活かし、本試験のさらなる充実をお願いするものです。

試験公告

コンプライアンス・オフィサー認定試験 『金融AMLオフィサー [実践]・[基本]・[取引時確認]』 特別実施のご案内

日本コンプライアンス・オフィサー協会

弊会では、「金融AMLオフィサー [実践]・[基本]・[取引時確認]」につきまして、2023年10月に金融AMLオフィサー [取引時確認]を、2024年3月に金融AMLオフィサー [実践]・[基本]・[取引時確認]を、特別実施することといたしました。

人事研修ご担当の皆様におかれましては、本試験の活用をご検討賜りたく、お願い申し上げます。

| 種 目 | 第 60 回 2023 年 10 月 22 日 (日) | 第 61 回 2024 年 3 月 3 日 (日) | 試験時間 |
|---------|--------------------------------|------------------------------|-------------|
| [実 践] | ○ | 特別実施 | 10:00～11:30 |
| [基 本] | ○ | 特別実施 | 10:00～11:30 |
| [取引時確認] | 特別実施 | 特別実施 | 10:00～11:30 |

※通常実施は○印

2023年度 CBT 方式試験のご案内

CBTとは「Computer Based Testing (コンピュータ ベースド テスティング)」の略称で、コンピュータを使った試験方式のことです。全国に約300会場あるテストセンターにて受験者の都合の良い試験日時・会場を選択して受験することができます。

CBT方式による銀行業務検定協会、日本コンプライアンス・オフィサー協会、日本ホスピタリティ検定協会の各試験は、株式会社 CBT-Solutions の試験システムおよびテストセンターにて実施いたします。

● 2023年5月開始分

| 種目名 | 試験時間 | 受験料 (消費税込) |
|---------------------------|------|------------|
| CBT 法務3級 | 120分 | 5,500円 |
| CBT 法務4級 | 90分 | 4,950円 |
| CBT 財務3級 | 120分 | 5,500円 |
| CBT 財務4級 | 90分 | 4,950円 |
| CBT 事業承継アドバイザー3級 | 120分 | 5,500円 |
| CBT 事業性評価3級 | 120分 | 5,500円 |
| CBT 相続アドバイザー3級 | 120分 | 5,500円 |
| CBT 信託実務3級 | 120分 | 5,500円 |
| CBT DXサポート | 60分 | 4,950円 |
| CBT 金融コンプライアンス・オフィサー2級* | 120分 | 5,500円 |
| CBT 金融個人情報保護オフィサー2級* | 120分 | 5,500円 |
| CBT 金融 AML オフィサー [実践]* | 90分 | 5,500円 |
| CBT 金融 AML オフィサー [基本]* | 90分 | 4,950円 |
| CBT 金融 AML オフィサー [取引時確認]* | 90分 | 4,950円 |
| CBT 社会人コンプライアンス検定試験* | 60分 | 4,950円 |
| CBT 社会人ホスピタリティ [実践]* | 120分 | 6,600円 |
| CBT 社会人ホスピタリティ [基本]* | 90分 | 4,950円 |
| CBT 共生社会コミュニケーション検定試験* | 60分 | 4,950円 |

※「CBT サステナブル経営サポート」につきましては、環境省認定制度「脱炭素アドバイザー ベーシック」対応試験として申請中のため一時休止、リニューアルして9月以降の再開を予定しております。

◎実施日程

2023年5月1日(月) ～ 2024年3月31日(日)

◎申込日程

2023年4月28日(金) ～ 2024年3月28日(木)

● 2023年6月開始分

| 種目名 | 試験時間 | 受験料 (消費税込) |
|----------------|------|------------|
| CBT 税務3級 | 120分 | 5,500円 |
| CBT 税務4級 | 90分 | 4,950円 |
| CBT 年金アドバイザー3級 | 120分 | 5,500円 |
| CBT 年金アドバイザー4級 | 90分 | 4,950円 |

◎実施日程

2023年6月1日(木) ～ 2024年3月31日(日)

◎申込日程

2023年4月28日(金) ～ 2024年3月28日(木)

詳しくは、株式会社 CBT-Solutions のホームページをご覧ください。<https://cbt-s.com/examinee/>

*印は、日本コンプライアンス・オフィサー協会、および日本ホスピタリティ検定協会からの全面委託を受けて実施するものです。

第156回銀行業務検定試験 第60回コンプライアンス・オフィサー認定試験 第5回社会人ホスピタリティ検定試験のご案内

| | 種目名 | 試験時間 | 受験料(消費税込) |
|--------|---------------------------|-------------------|-----------|
| 午前実施種目 | 法務3級 | 10:00～12:00(120分) | 5,500円 |
| | 法務4級 | 10:00～11:30(90分) | 4,950円 |
| | 預かり資産アドバイザー3級 | 10:00～12:00(120分) | 5,500円 |
| | 年金アドバイザー3級 | 10:00～12:00(120分) | 5,500円 |
| | 金融コンプライアンス・オフィサー2級* | 10:00～12:00(120分) | 5,500円 |
| | 保険コンプライアンス・オフィサー2級* | 10:00～12:00(120分) | 5,500円 |
| | 金融AMLオフィサー [実践]* | 10:00～11:30(90分) | 5,500円 |
| | 金融AMLオフィサー [基本]* | 10:00～11:30(90分) | 4,950円 |
| | 金融AMLオフィサー [取引時確認]*(特別実施) | 10:00～11:30(90分) | 4,950円 |
| | 社会人ホスピタリティ [基本]* | 10:00～11:30(90分) | 4,950円 |
| 午後実施種目 | 法務2級 | 13:30～16:30(180分) | 8,250円 |
| | 財務2級 | 13:30～16:30(180分) | 8,250円 |
| | 税務3級 | 13:30～15:30(120分) | 5,500円 |
| | 証券3級 | 13:30～15:30(120分) | 5,500円 |
| | 外国為替3級 | 13:30～15:30(120分) | 5,500円 |
| | 預かり資産アドバイザー2級 | 13:30～16:30(180分) | 8,250円 |
| | 相続アドバイザー3級 | 13:30～15:30(120分) | 5,500円 |
| | 保険販売3級 | 13:30～15:30(120分) | 5,500円 |
| | 営業店マネジメントⅠ | 13:30～16:30(180分) | 9,900円 |
| | 営業店マネジメントⅡ | 13:30～16:30(180分) | 8,800円 |
| | 事業承継アドバイザー3級 | 13:30～15:30(120分) | 5,500円 |
| | 金融コンプライアンス・オフィサー1級* | 13:30～16:30(180分) | 8,250円 |
| | 社会人ホスピタリティ [実践]* | 13:30～15:30(120分) | 6,600円 |

*印は、日本コンプライアンス・オフィサー協会、および日本ホスピタリティ検定協会より認定試験・検定試験実施の全面委託を受けて実施するものです。

| | |
|----------------|--------------------------|
| ◎実施日 | ◎願書受付期間 |
| 2023年10月22日(日) | 2023年8月17日(木)～9月6日(水) 必着 |

経済法令研究会からのお知らせ

— 経済法令研究会の通信講座 —

| 検定試験・認定試験対応通信講座 | 検定試験・認定試験 |
|--|--------------------|
| 事例で学ぶ 金融法務の理解を深め実務対応力を高めるコース | 法務2級 |
| 実務に活かす 金融法務の基本がよくわかるコース | 法務3級 |
| 実務に活かす 金融法務の基本がよくわかるコース | 法務4級 |
| 事例で学ぶ 財務分析力を高め経営アドバイスに活かすコース | 財務2級 |
| 実務に活かす 税務の基本がよくわかるコース | 税務3級 |
| 実務に活かす 外国為替と貿易の基本がよくわかるコース | 外国為替3級 |
| 預かり資産アドバイザー養成コース | 預かり資産アドバイザー2級 |
| 預かり資産アドバイザー基本コース | 預かり資産アドバイザー3級 |
| 実務に活かす 年金の基本がよくわかるコース | 年金アドバイザー3級 |
| 実務に活かす 相続手続きの基本がよくわかるコース | 相続アドバイザー3級 |
| 営業店マネジメント [実践] コース | 営業店マネジメントⅠ |
| 営業店マネジメント [基本] コース | 営業店マネジメントⅡ |
| 営業店の事業承継支援コース | 事業承継アドバイザー3級 |
| 金融コンプライアンス [管理者] コース | 金融コンプライアンス・オフィサー1級 |
| 金融コンプライアンス [基本] コース | 金融コンプライアンス・オフィサー2級 |
| マネー・ローンダリング徹底理解コース | 金融AMLオフィサー [実践] |
| マネー・ローンダリング徹底理解コース | 金融AMLオフィサー [基本] |
| 営業店のマネロン対策に役立つ 取引時確認・疑わしい取引への感度を高めるコース | 金融AMLオフィサー [取引時確認] |
| J Aのマネロン対策に役立つ 取引時確認・疑わしい取引への感度を高めるコース | |
| 気持ちを伝え心を動かす ホスピタリティ・マスターコース | 社会人ホスピタリティ [実践] |
| 気持ちを伝え心を動かす ホスピタリティ・マスターコース | 社会人ホスピタリティ [基本] |

通信講座の受講期間・価格等については、経済法令研究会のホームページをご覧ください。